

# より開かれた議会を目指して

## 第8回議会報告会「地域づくりを考える」を開催

本年度も議会基本条例に基づく議会報告会を開催しています。過去のアンケート等によると、「各地区で開催してほしい」「身近なテーマにしてほしい」というご意見が多かったことから、時期やテーマを変えて10地区で開催し、全議員が地域の抱える懸案事項を共有することとしました。

初回となった塙尻東地区での議会報告会は5月24日に開催し、約130名の市民の皆さんに参加いただきました。テーマは、民間の産業廃棄物最終処分場建設についてであり、地元の皆さんとの最大の関心事でありました。現在の安定型処分場の安全性を危惧する意見や計画中の管理型処分場の手続きのありようなどについて、議会に対しても厳しい意見や宿題をいただきました。議会といましても、これらの意見をしっかりと



議会報告会の様子

受け止め、地域住民の皆さんに寄り添い、できる限りの対応をしていくとの意見集約をさせていただきました。6月定例会には、最終処分場建設反対の請願が提出され、総務生活委員会において提案者からも意見をお聞きし、全員一致で採択。本会議においても異論なく採択され、関係機関へ住民の意向を十分に受け止め、慎重な対応を求める意見書を提出することになりました。

平成28年5月24日から各地区で開催

## 委員会行政視察報告

**■開かれた議会への取組み**  
(新潟県柏崎市)

柏崎市議会は、「市民の信託に応える合議体たる議会づくり」を基本理念に掲げ、活力と創造に満ちた議会改革を誠実に行い、市民とともに豊かなまちづくりを実現するために議会基本条例を制定し、議会改革に取り組んでいます。

柏崎市議会は、議会運営をよりスピーディーに進めるために平成28年4月から、ペーパーレス化を図り、議員全員にタブレットを支給し、各種連絡やスケジュール管理、会議資料の配布などを実行っています。

さらに、議会基本条例に基づき、平成25年に会期の通年制を導入したほか、会議における議員間討議を重視し議員間の合意形成の醸成に努めているとのことでした。なお、議会の会期を複数会期制から通年議会(毎年5月1日から4月30日まで)に変更したことで議会運営が従来と大きく変わった。

わることとなり、会議の日程、議案の取扱いなど行政側と調整する項目が多数あり、議会、行政側の双方が納得するのに時間を要したという苦労話をお聞きしました。

柏崎市議会では、市民アンケートの結果などを参考にして議会基本条例を制定したことでした。

また、柏崎市議会の開かれた議会への取り組みを、本市の議会改革に生かし、今後、更に開かれた議会となるよう活動していきたいと思います。



柏崎市での研修の様子

## 議会改革政策部会

平成28年4月14日・15日